

日本鳥学会 2009 年度大会で自由集会を開催しました

当会は北海道大学水産学部（函館市）で行なわれた日本鳥学会 2009 年度大会（会期 9 月 19～22 日）で、9 月 20 日にモニタリングサイト 1000 について、21 日に野鳥と風力発電についての自由集会を開催しました。

主催した野鳥と風力発電の自由集会では、風車建設後に行なわれる鳥類への影響評価調査について、当会職員より海外での事例が示された後、北海道の苫前町と京都府の太鼓山で行われた実際の評価事例について、会員の北野雅人さんと中津弘さんより発表がありました。また、函館市の汐首岬の風車建設予定地で渡り鳥の調査を行った結果、青森の大間崎と結ぶだろう主要な渡りルートであることが分かった事例について、道南檜山支部の一戸静夫事務局長から発表がありました。当日は自然保護関係者や学生など約 40 名の参加があり、盛況のうちに終了することができました。風力発電と野鳥の問題は今後も続くと思われるため、当会として取り組みを続けて参ります。（自然保護室）



海外での影響評価の調査事例について発表する自然保護室・浦 達也